

山梨県立 あけぼの支援学校

Akebono Special Needs Education School



裏表紙掲載写真：2024年度写真部作品



山梨県立あけぼの支援学校

〒407-0046 山梨県韮崎市旭町上条南割 3251-1

TEL 0551-22-6131 FAX 0551-22-6628

URL <http://www.akebonoy.kai.ed.jp/>

E-mail ask@akebonoy.kai.ed.jp



学校要覧 2025

校訓

「いぎいぎゅー Full of life」

「いぎいぎゅー」は、

活気に満ちてくる様子、

勢いのよい様子を意味している。

まさに、若芽が天に向かって

伸びてゆく姿を彷彿させる言葉である。

人間は無限の可能性を持っている。

あけぼの支援学校の全ての人が、

それぞれの力を最大限に発揮し、共に楽しく、

元気に生活しながら目標を実現し、

可能性を追求していきたい。

このような願いを込めて、

校訓「いぎいぎと」を制定した。

また、本校創立五十周年の記念として、

児童生徒、保護者、教職員の投票により

英文サブタイトル「Full of Life」を制定した。



校歌

作詞 佐藤精一

作曲 近藤幹雄

一 松の林の中にある

あけぼの養護 たのしい学校

強いところと からだをつくる

八ヶ岳も見ている 優しいほほえみ

二 御勅使の川の瀬音聞く

あけぼの養護 明るい学校

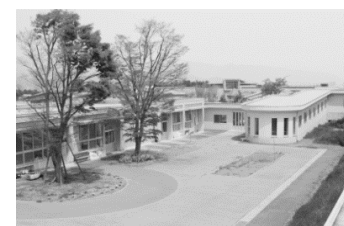
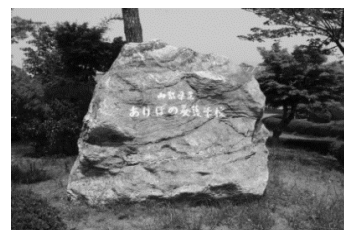
仲よく学び はげまし合う

富士も見ている めあてを高く



CONTENTS

I 沿革	02
沿革の概要 歴代校長	
II 学校目標	06
III 本年度の重点目標と方策	07
IV 教育課程	08
準ずる教育課程 下学年適用の教育課程 知的障害の教科を主とした教育課程 自立活動を主とした教育課程 日課表 スクールバス運行時刻	
V 学校運営	13
1 学校運営組織 2 各教科領域別所属職員一覧 3 校内分掌業務 4 分掌の本年度重点目標 5 教職員一覧	
VI 児童生徒の状況	18
1 児童生徒数 2 身辺自立の状況 3 学級数 4 入所・通学別児童生徒数 5 居住地別児童生徒数 6 病類別児童生徒数 7 高等部卒業生の進路状況	
VII 関係諸団体役員	22
PTA会長 教育振興会会長 交流及び共同学習推進会議(協議会)顧問 同窓会会長	
VIII 警備・防災組織	23
自主防災組織編成表	
IX 校地及び施設	24
1 校地 2 施設 3 校舎配置図	
X 年間行事予定	26
XI 学校案内図	30



I 沿革

■ 沿革の概要

昭和33年12月 昭和34年 1月	肢体不自由児療育施設あけぼの学園（50ベッド）開設。 園内教育をはじめる。甲府市教育委員会より教諭2名派遣。
昭和34年 4月	甲府市立北新小学校より3名、同北中学校より教諭2名派遣。 小は1～2学年・3～4学年・5～6学年の複式、中は複々式で編成し北新小学校の 分教室として開設。
昭和35年 4月	小は5・6学年を単式に、中1～2学年を複式、3学年を単式とし、教諭数計7名。 中教審答申に沿って県立養護学校設置運動着手。
昭和36年 4月	小・中ともに複式解消。教諭11名。
昭和38年 4月	県立盲学校（甲府市下飯田975）内に山梨県立養護学校が開校。 小1～2学年・3～4学年・5～6学年の各複式で発足。 同時に、あけぼの学園内に県立養護学校あけぼの分校が開校。 小学部6学級、中学部3学級、教諭10名。
昭和41年 4月	分校主任発令。
昭和48年 4月	高等部別科（2年課程）新設。
昭和49年 4月 8月 12月	山梨県立あけぼの養護学校として独立し、あけぼの医療福祉センターの併設方式をとる。 学級数17学級（小10・中4・高3）児童生徒数93名。 現在地へ重度棟・小学部棟・中高等部棟・管理棟起工。 移転の上、開校式・校旗樹立・校歌制定発表。
昭和50年 4月 9月	高等部普通科設置、学級数19学級。 車庫・倉庫完成。
昭和51年 4月 昭和52年 3月	学級数20学級（小10・中5・高5）児童生徒数97名。 体育館竣工。
昭和53年 6月 11月	花壇・噴水池造成。 V T R装置の設置。
昭和55年 3月	特別教室棟竣工。
昭和55年 4月 10月 12月	創立5周年記念式典挙行。 特別教室棟前庭の庭園造成。 1～3号館入口ドアの自動化完成。
昭和56年11月 11月	第18回関東甲越地区肢体不自由教育研究協議会山梨大会を主管校として開催。 暖房改善工事及び廊下暖房設備増設（1～3号館）。
昭和57年 6月 10月 昭和58年 3月	山梨県特殊教育諸学校研究協議会の主管校として研究大会を開催。 第1回養護学校サッカー大会実施（於みだい体育センター）。 1号館避難通路及び足洗い場完成。
昭和58年 7月	第19回関東甲越地区肢体不自由養護学校P T A連合会・総会及びP T A・校長会合同 研究協議会を主管校として開催（於石和観光温泉ホテル）。

昭和59年 6月 11月 昭和60年 3月	創立10周年記念式典挙行。 観察園完成と植樹祭(5,000㎡)。 新校舎落成。 「愛鳥の園」碑建立。
昭和60年 9月 11月 昭和61年 3月	観察園道路完成。 渡り廊下防風壁工事完成。 外灯工事完成。
昭和61年 6月 7月 昭和62年 3月	農園スプリンクラー完成。 運動場側壁工事完成。 玄関改修工事及びプール設置床面コンクリート舗装完成。
昭和62年 4月 昭和63年 2月 3月	重症心身障害児学級新設。 北門及び運動場ネットフェンス設置工事、正面ロータリー工事完成。 避難所取付道路完成。 重症心身障害児教室棟完成。
昭和63年 4月 6月 9月	文部省特殊教育実験学校(昭和63年度～平成2年度)の指定を受ける。 校名碑、校歌碑、位置標碑建立。 運動場遊歩道完成。
平成元年 4月 平成2年 3月	校長室改築工事完成。 運動場法面コンクリート工事完成。
平成2年10月	文部省特殊教育実験学校公開研究発表会を開催(約300名参加)。
平成3年11月 平成4年 3月	韭崎市立甘利小学校(韭崎市教育委員会研究指定)との交流教育公開発表会に提携校として参加。 技術科準備室改修工事完成。
平成4年 7月 12月	文化交流会館(松籟館)竣工。 体育器具庫完成。
平成5年 4月 9月 平成6年 1月	専任養護教諭の配置、保健室の整備。 第5回日米障害者協議会やまなしフォーラム'93国際交流会「意見交換会」開催。 中央廊下改修工事完成。
平成6年 4月 6月	県立北病院内に分教室(1学級)を開設。 創立20周年記念式典挙行。
平成7年 5月 平成8年 3月	保健室の移転及び改修。 1号館屋根改修工事完成。1号館、2号館東への通路改修工事完成。
平成8年 4月 平成9年 3月	分教室、2学級に増設。 分教室閉室。
平成9年 6月 8月	エアコン5台設置。 第41回全国肢体不自由養護学校教頭研究協議会山梨大会を主管校として開催(於ホテル石庭)。
平成10年 2月 3月	図書室整備。 水道への塩素注入装置の設置。 焼却炉廃止に伴うごみ収集庫設置。
平成11年 9月 平成12年 3月	3号館前庭の整備。 玄関アプローチ、スロープの設置。屋根の塗装及び全館、網戸の設置。
平成13年 4月 6月 7月	校訓「いきいきと」制定 体育館緞帳の新調。 第37回関東甲越地区肢体不自由養護学校PTA連合会・総会及びPTA・校長会合同研究協議会を主管校として開催(於八ヶ岳ロイヤルホテル)。

平成14年 8月 平成15年 1月	エアコン1台設置。 エアコン1台設置。
平成16年 4月 6月	特別支援教育モデル校指定。 創立30周年記念式典挙行。
平成18年 7月 8月 9月 9月	大規模改修工事完成。 学校看護師2名配置。 あけぼの医療福祉センター隣接校となる。 スクールバス1台導入。技術員(運転業務含む)1名配置。 学校改修工事完成披露式典挙行及び学校公開。
平成19年 4月 10月	山梨県立あけぼの支援学校に校名変更。 第44回関東甲越地区肢体不自由教育研究協議会山梨大会を主管校として開催(於常磐ホテル)。
平成20年 3月	スクールバス車庫完成。
平成20年 4月 10月	山梨県立特別支援学校通学区域等に関する規則の改正により、新たに韮崎市、南アルプス市、北杜市が通学区となる。ただし山梨県立あけぼの医療センターで加療中の者にあっては県下全域。 山梨県特別支援学校学級編制要綱改正に伴い訪問学級が認可され訪問教育開始。 大型スクールバス導入。
平成21年 4月 8月	学校看護師1名増員。 屋内運動場雨漏り補修工事完成。 浄化槽仕切り壁破損補修工事完成。
平成25年 2月	文化交流会館手洗い場設置。
平成25年 4月 8月 10月	視線入力型意思伝達装置(マイトビー)導入。 図書室蔵書のバーコード化による電算化開始。 第50回関東甲越地区肢体不自由教育研究協議会山梨大会を主管校として開催(於ホテル慶山)。
平成26年 1月	1号館の壁の改修工事を行い、新たに教室を設置。 中型スクールバス導入。
平成26年 4月 6月 11月	学校看護師5名配置。 平成26年度山梨県合理的配慮推進校指定。(～平成27年度) 創立40周年記念式典挙行。
平成27年 4月 7月 10月 平成28年 3月	自立活動係設置。 小学部棟・重症心身障害児教室棟エアコン室外機及び室内機入替。 プール及び体育館非構造物落下防止工事。 重症心身障害児教室棟東側避難路舗装工事。
平成28年 5月 平成29年 1月	集団授業計画・教育課程冊子の作成、配付。 管理棟屋上防水改修工事。
平成29年 4月 10月 12月	二学期制実施。 スクールバス昇降所屋根増築工事完成。 駐車場舗装工事完成。
平成30年10月 平成31年 2月 3月	職員給食開始。 プール更衣室エアコン設置。 パソコン室、視聴覚準備室、小学部教室のエアコン室外機及び室内機入替。
令和元年 7月	第55回関東甲越地区肢体不自由特別支援学校PTA連合会総会及びPTA・校長会合同研究協議会山梨大会を主管校として開催(於甲府記念日ホテル)。

令和2年3月	食堂、ほほえみホールに非常用放送設備、事務室に非常通報装置を設置。 屋外に防犯カメラを9台設置。
令和3年2月	児童生徒玄関に感染症蔓延防止対策として玄関内間仕切りを設置。
令和3年4月	山梨県教育委員会特別支援学校におけるICT教育推進事業「ICTを活用した授業づくり実践研究」指定（～令和4年度）
令和4年5月	体育館に気化熱冷風機を3台設置。
令和5年3月	温冷配膳車とリフトカーの更新。
令和5年4月	山梨県教育委員会特別支援学校におけるICT教育推進事業「ICTを活用した授業づくり実践研究」指定（～令和6年度）
11月	第38回時事通信社「教育奨励賞 努力賞」を受賞。
12月	大リーグ大谷翔平選手から野球グローブの寄贈。
令和6年3月	職員室内のエアコン入替。 温冷配膳車の更新。
令和6年4月	教育の対象とする障害種別に病弱（高等部に限る）を追加。
11月	創立50周年記念式典挙行。 校訓「いきいきと～Full of life～」を制定。

■ 歴代校長

代	氏 名	就任年月日	退任年月日
初 代	河西 鉄之助	昭和49年4月1日	昭和52年3月31日
2 代	米山 栄	昭和52年4月1日	昭和54年3月31日
3 代	坂本 通安	昭和54年4月1日	昭和57年3月31日
4 代	土屋 丑男	昭和57年4月1日	昭和60年3月31日
5 代	森川 映	昭和60年4月1日	昭和61年3月31日
6 代	鈴木 治範	昭和61年4月1日	平成 2年3月31日
7 代	跡部 義幸	平成 2年4月1日	平成 3年3月31日
8 代	増村 栄治	平成 3年4月1日	平成 6年3月31日
9 代	天野 進	平成 6年4月1日	平成 8年3月31日
10代	木藤 勇興	平成 8年4月1日	平成 9年3月31日
11代	内藤 利信	平成 9年4月1日	平成11年3月31日
12代	平嶋 寛策	平成11年4月1日	平成14年3月31日
13代	坂本 洋	平成14年4月1日	平成16年3月31日
14代	浅川 節子	平成16年4月1日	平成19年3月31日
15代	保坂 博文	平成19年4月1日	平成21年3月31日
16代	佐々木 宏夫	平成21年4月1日	平成24年3月31日
17代	石原 学	平成24年4月1日	平成26年3月31日
18代	雨宮 貴雄	平成26年4月1日	平成30年3月31日
19代	佐田 弘和	平成30年4月1日	令和 3年3月31日
20代	小田切 一博	令和 3年4月1日	令和 5年3月31日
21代	相山 洋幸	令和 5年4月1日	令和 7年3月31日
22代	中込 昭彦	令和 7年4月1日	

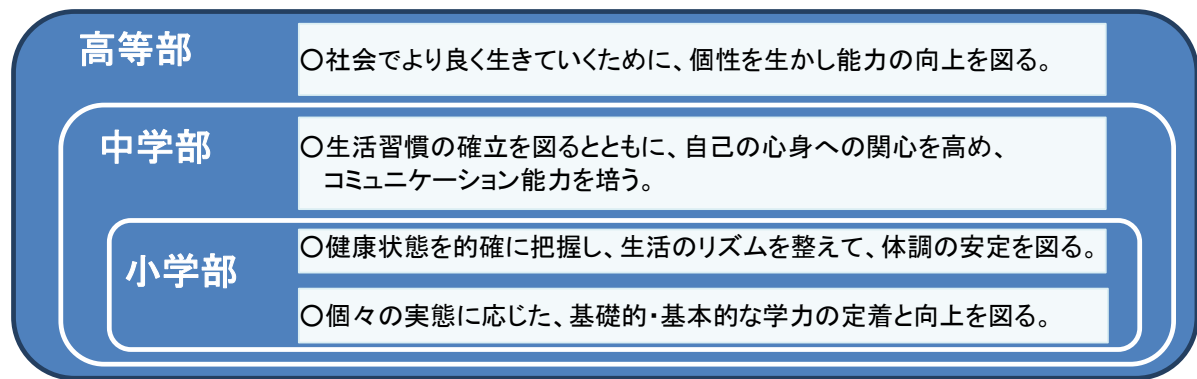
Ⅱ 学校目標

学校教育目標

「いきいきと～Full of life～」を校訓とし、教育と医療・福祉が密接に結びついた特色ある教育を実現し、質の高い自立と社会参加に向けて可能性を最大限に引き出す教育を行う。

学部教育目標

学校教育目標を達成するために、各学部での指導を積み上げ、小・中・高等部の一貫した指導を行います。



めざす児童生徒の姿

- 「いきいきと」元気に共に楽しく生活しながら目標を実現する児童生徒
- 力を最大限に発揮し、可能性を追求していく児童生徒

小学部：

身近な人やものに興味・関心をもち、周囲からの働きかけを受け入れ、自ら関わろうとする児童

中学部：

自ら積極的に関わっていく力を養い、仲間と協調して活動できる生徒

高等部：

自立や社会参加に必要な力をもち、主体的に生きることができる生徒

めざす学校像

- 児童生徒も教職員もいきいきと成長する学校
- 質の高い自立と社会参加を目指すために、児童生徒が目的や状況に応じて知識及び技能を活用する資質能力を身に付けることができる学校
- 「個々の資質能力を高めるための指導」「児童生徒が共に学び合うために必要な支援」「学習や生活上の困難さを軽減するために必要な支援」を実態に応じて提供できる学校
- あけぼの医療福祉センターとのチームアプローチによる指導を充実する学校
- 積極的に情報を発信すると共に、地域、関係機関と連携し特別支援教育を推進する学校
- 教職員が学び続ける姿勢をもつと共に、働きやすさと働きがいと両立する学校
- 事務室の経営参画を推進し教育活動と予算執行を計画的・組織的に行う学校

学校運営方針

- 「目的や状況に応じた知識及び技能の活用力の育成」を目指し「何を知っているのか」「何ができるのか」を基本としながら、それらを「どう生かすのか」を到達点とすることで、質の高い自立と社会参加を達成する。
- 自立に向け、学部の状況や児童生徒の実態に応じたキャリア教育の充実・推進を図る。関係機関との連携を図るとともに、高等部卒業を視野に入れた児童生徒の年齢に応じた進路指導と保護者への理解啓発に取り組む。
- 「資質能力を高める指導」「共に学び合うための支援」「生活及び学習上の困難さの軽減のための支援」の視点から、児童生徒の実態やニーズに応じた指導に取り組む。
- 個々の児童生徒の実態に応じたICT等を活用した授業実践に取り組み、教員の活用能力向上を図る。
※ICT: Individualized (個々の) Characterized (特性に応じた) Tool by the disability (支援機器)
- 自立活動において、個々の中心的課題を教師集団で共有し、共通理解のもと指導にあたる。外部専門家を活用した教員の実態把握や指導力の向上を図る。
- 児童生徒の健康管理を常に意識し、緊張感をもって指導するとともに、医療的ケアが必要な児童生徒に対して充実した教育活動を展開できる持続可能な体制を構築する。
- 継続的な教師の学びの実現に向け、経験や年齢に応じた課題に対する主体的な研修の取組とその内容を記録する体制を整え、教員の資質と学ぶ意識の向上を図る。
- 教職員の人権意識をより高め、個々が尊重される教育や学習環境を充実させる。
- 教員一人一人のワーク・ライフ・バランスの実現を図り、効果的な教育活動を展開する。

Ⅲ 本年度の重点目標と方策

重点目標と方策

(1) 児童生徒の可能性を発見し発達を支援する教育を推進する

○一人一人の実態やニーズに応じた指導及び支援の充実

- ・ ICF を基とした学習活動の考え方を中心に、学習で得た知識及び技能を活用する力を獲得させるための教育課程の検討
- ・ 学習指導要領に基づき児童生徒に育成すべき資質能力を踏まえた個別の指導計画のあり方についての検討
- ・ 個々の児童生徒の実態に応じたICTを活用した授業づくりの実践
- ・ 自立活動に係る専門家との更なる連携と実態把握や指導評価への活用・充実

○進路指導の充実

- ・ キャリアパスポートを活用したキャリア教育の推進
- ・ 福祉制度や施策などの情報について、教員と保護者が情報を共有し、卒業を見据えた系統的な進路指導の充実

(2) 安心して健やかな学校生活を享受することを保障する教育を実践する

○児童生徒、保護者、教職員が一体となった安全・安心な学校づくり

- ・ 危機管理マニュアルの再検討と、あけぼの医療福祉センターと連携した必要な施設整備や備蓄品等の整備計画の立案
- ・ スクールバス緊急対応を含めた安全運行に関する取り組みの強化
- ・ 保護者や関係機関と連携をとった感染症対策の徹底と発生時の迅速な対応
- ・ 事故防止に向けた、すべての教育活動におけるインシデント・アクシデントの報告・分析とその解決策や予防策の迅速な周知及び実践
- ・ 食形態や摂食指導に係る研修による学校全体でのスキルの維持充実と安全な給食指導の実施
- ・ 教員間の円滑なコミュニケーションによる諸課題の早期発見と迅速な対応

(3) 共に豊かな人生を共有する教育を目指す

○地域に根ざした学校づくりの推進

- ・ 肢体不自由特別支援学校としての特色と専門性を生かした地域支援活動の推進及び関係市町村との連携による就学相談の充実
- ・ 病弱に係る高等部入学希望者に対する支援の推進及び就学相談の充実
- ・ 新設される学校運営協議会における意見を学校運営に反映させることによる「地域とともにある学校づくり」の推進
- ・ 学校ホームページを活用した学部や分掌等からの本校の特色の情報発信の充実

(4) 教職員が働きやすい職場環境を目指す

○教職員のライフ・ワーク・バランスやキャリア形成を意識した職場づくり

- ・ 教職員の勤務時間や健康管理を意識した働き方とICTを活用した校務の効率化の推進
- ・ 教員一人一人のライフステージや課題を意識した主体的な研修の推進

IV 教育課程

■準ずる教育課程

小学部：準ずる・下学年適用の教育課程

教科・領域等	1年	2年	3年	4年	5年	6年
国語	9	9	7	7	5	5
社会			2	3	3	3
算数	4	5	5	5	5	5
理科			3	3	3	3
生活	3	3				
音楽	2	2	1.5	1.5	1.5	1.5
図画工作	2	2	1.5	1.5	1.5	1.5
家庭					1	1
体育	2	2	2	2	2	2
外国語					2	2
道徳科	1	1	1	1	1	1
外国語活動			1	1		
総合的な学習の時間			2	2	2	2
特別活動	1	1	1	1	1	1
自立活動	1	1	1	1	1	1
合計	25	26	28	29	29	29

中学部：準ずる・下学年適用の教育課程

教科・領域等	1年	2年	3年
国語	4	4	3
社会	3	3	4
数学	4	3	4
理科	3	4	4
音楽	1	1	1
美術	1	1	1
保健体育	2	2	2
技術・家庭	2	2	1
外国語	4	4	4
道徳科	1	1	1
総合的な学習の時間	1	2	2
特別活動	1	1	1
自立活動	2	1	1
合計	29	29	29

※本校の教育課程は、児童生徒の障害の状況等にあわせて個別に編成するため、ここでは代表的な教育課程を掲載する。

※年間39週実施する。

※本校では日課の時間内に、隣接するあけぼの医療福祉センター療法科で、医師の指示に基づく理学療法・作業療法・言語聴覚療法・心理療法が実施されている。ただし、その時間はここに記載した教育課程には含まれていない。

高等部: 準ずる教育課程 (令和7年度入学生徒用) ※病弱含む

* 卒業時までに必要な単位数 (74単位)

教科・科目・領域など		標準単位数	1学年	2学年	3学年	卒業までの単位数
国語	現代の国語	2	2			2
	言語文化	2	2			2
	論理国語	4		2科目選択 2	2科目選択 2	4
	文学国語	4		2	2	4
	国語表現	4		2	2	4
	古典探究	4		2	2	4
地理歴史	地理総合	2		2		2
	地理探究	3			4	4
	歴史総合	2	2		4	2
	日本史探究	3			4	4
	世界史探究	3			4	4
公民	公共	2	2			2
	倫理	2			2	
	政治経済	2			2	
数学	数学Ⅰ	3	3			3
	数学Ⅱ	4		3	3	6
	数学Ⅲ	3				
	数学A	2	2			2
	数学B	2			2	2
	数学C	2				
理科	科学と人間生活	2	2			2
	物理基礎	2		2		2
	物理	4		2科目選択 2	2科目選択 4	4
	化学基礎	2		2	4	2
	化学	4		2	4	4
	生物基礎	2		2	4	2
	生物	4		2	4	4
	地学基礎	2		2	4	2
	地学	4			4	4
保体	体育	7~8	2	2	2	6
	保健	2	1	1	1	3
芸術	音楽Ⅰ	2	1	1		2
	書道Ⅰ	2	1	1		2
	美術Ⅰ	2	1	1		2
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3			3
	英語コミュニケーションⅡ	4		4		4
	英語コミュニケーションⅢ	4				
	論理・表現Ⅰ	2			3	3
	論理・表現Ⅱ	2				
	論理・表現Ⅲ	2				
家庭	家庭基礎	2				
	家庭総合	4	2	2	2	6
情報	情報Ⅰ	2	2	1	1	4
	情報Ⅱ	4	0	0	0	0
総合的な探究の時間		3~6	1	1	1	3
自立活動		—	2	4	2	8
小計		—	29	29	29	87
特別活動		—	1	1	1	3
合 計		—	30	30	30	90

※知的障害を併せ有する児童生徒については、知的障害の教科等と自立活動を個々の児童生徒の実態に合わせて編成し、教育課程としている。
以下に、代表的な教育課程の一例について掲載する。

■知的障害の教科を主とした教育課程

小学部（例 第5学年）

教科領域	週時数
国語	3
算数	2
生活	2
音楽	3
図画工作	2
体育	2
道徳科	1
特別活動	1
自立活動	13
合計	29

中学部（例 2学年）

教科領域	週時数
国語	3.5
社会	2
数学	2.5
理科	2
音楽	3
美術	2
保健体育	2
道徳科	1
特別活動	1
自立活動	10
合計	29

高等部（例 3学年）

教科領域	週時数
国語	5
社会	1
数学	3
理科	1
保健体育	2
音楽	2
美術	2
職業	1
家庭	1
道徳科	1
総合的な探究の時間	1
特別活動	1
自立活動	9
合計	30

※本校の教育課程は、児童生徒の障害の状況等にあわせて個別に編成するため、ここでは代表的な教育課程を掲載する。

※知的障害の教科を主とした教育課程においては、「朝の会」「朝の活動」等の名称で、週あたり4～5時間、複数の教科および自立活動を合わせた指導を実施している。

※年間39週実施する。

※本校では日課の時間内に、隣接するあけぼの医療福祉センター療法科で、医師の指示に基づく理学療法・作業療法・言語聴覚療法・心理療法が実施されている。ただし、その時間はここに記載した教育課程には含まれていない。

■自立活動を主とした教育課程

高等部

教科領域	週時数
自立活動	28
道徳科	1
特別活動	1
合 計	30

小学部（訪問教育）

教科領域	週時数
自立活動	4
道徳科	1
特別活動	1
合 計	6

中学部（訪問教育）

教科領域	週時数
自立活動	6
道徳科	1
特別活動	1
合 計	8

教育課程別児童生徒数

教 育 課 程	小学部	中学部	高等部	合計
準 ず る	0	0	0	0
下 学 年 適 用	1	1	0	2
知 的 障 害 代 替	15	9	14	38
自 立 活 動 主 体	0	0	2	2
自 立 活 動 主 体 (訪 問)	2	1	0	3
合 計	18	11	16	45

■ 日課表

ホー ム ルー ム	8 : 5 0 ~ 9 : 0 0
1 校 時	9 : 0 5 ~ 9 : 5 0
2 校 時	9 : 5 5 ~ 1 0 : 4 0
3 校 時	1 0 : 4 5 ~ 1 1 : 3 0
4 校 時	1 1 : 3 5 ~ 1 2 : 2 0
給 食	1 2 : 2 0 ~ 1 3 : 1 5
5 校 時	1 3 : 1 5 ~ 1 4 : 0 0
6 校 時	1 4 : 0 5 ~ 1 4 : 5 0
スクールバス発車	1 5 : 1 0

※小学部は、40分授業を行う。

■ スクールバス運行時刻

《1号車》南アルプスルート

登校便	
学 校 発	7:20
南アルプス市役所 甲 西 支 所	8:05
J A 南 アル プ ス 道 の 駅 し ら ね 農 産 物 直 売 所	8:30
学 校 着	8:43

《2号車》北杜・韭崎ルート

登校便	
学 校 発	7:00
北杜市オオムラサキ セ ン タ ー	7:40
道 の 駅 に ら さ き	
オ ギ ノ 韭 崎 店	8:10
ローソン 韭 崎 富 士 見 一 丁 目 店	
学 校 着	8:30

《リフトカー》竜王駅北口ルート

(水→14:00下校) 月火木金→15:00下校

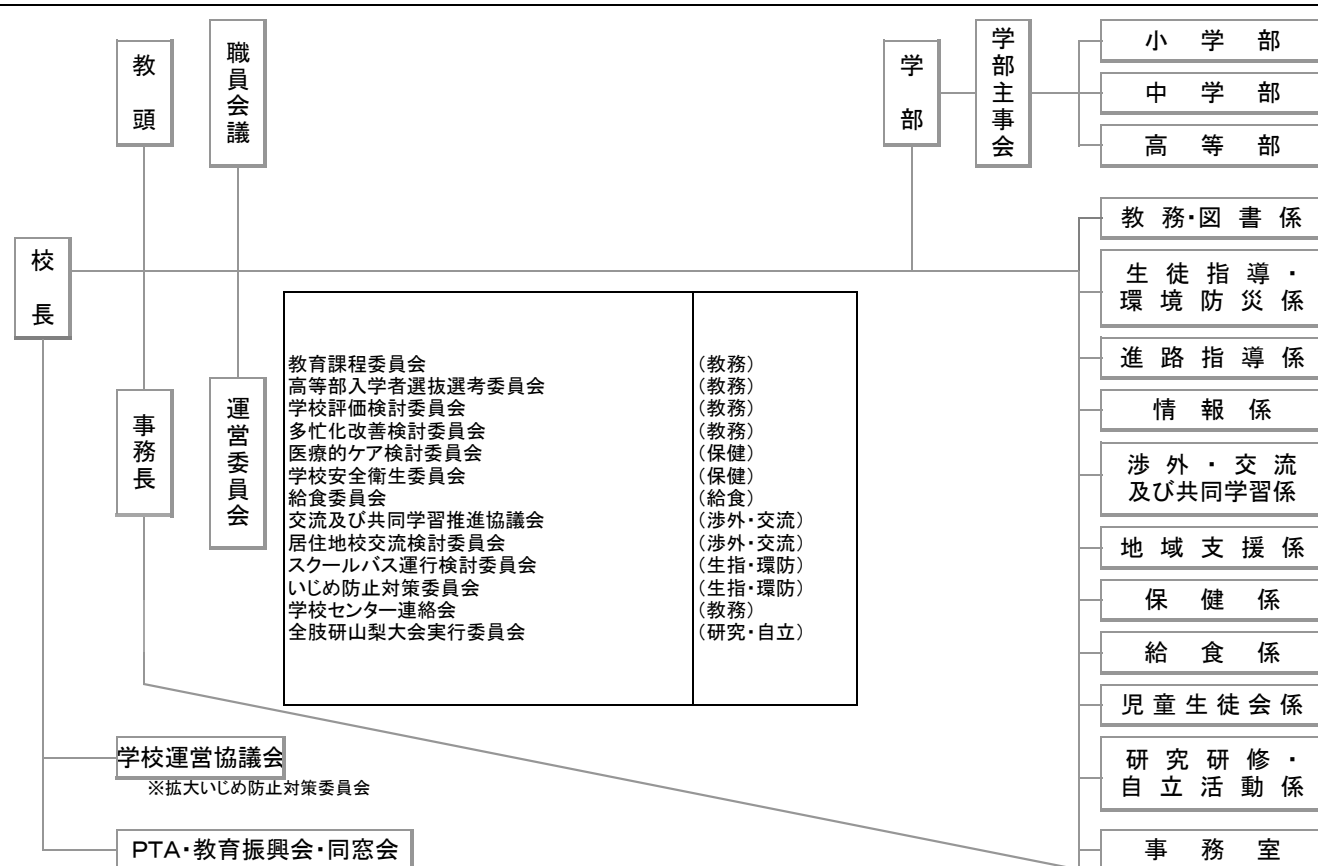
下校便		平常	11:30下校	13:30下校
学 校 発	(14:10) 15:10	11:30	13:30	
竜 王 駅 北 口	(14:40) 15:40	12:00	14:00	
学 校 着	(15:20) 16:20	12:30	14:30	

《2号車》北杜・韭崎ルート

下校便		通常	11:30下校	13:30下校
学 校 発	15:05	11:30	13:30	
ローソン 韭 崎 富 士 見 一 丁 目 店	15:25	11:50	13:50	
R hair 韭 崎 店	15:35	12:00	14:00	
R hair 韭 崎 店	15:35	12:00	14:00	
道 の 駅 に ら さ き	15:55	12:20	14:20	
北杜市オオムラサキ セ ン タ ー	16:25	12:50	14:50	
学 校 着	16:55	13:20	15:20	

V 学校運営

1 学校運営組織

[illegible]

3 校内分掌業務

係	主な項目	内 容
教 務 係 図 書	企 画 日 課 教 育 日 課 儀 式 行 事 入 試 関 係 表 試 簿 教 材 教 具 実 習 見 学 校 内 規 程 調 査 統 計 初 任 者 研 修 図 書	連絡調整、日課、時間割、特別教室使用調整、職員会議 運営委員会、教科会議、週番、個別の教育支援計画作成・保管 教育計画、教育課程、個人ファイル、個別の指導計画、授業連携 儀式、行事予定、授業参観、学校公開等 高等部入試事務、高等部入試、一日入学 学籍、指導要録、通信表、卒業生台帳、学校日誌、児生名簿、出席簿 教科書、指導書、教材購入、教材備品購入・管理 教育実習、介護等体験、学校見学、学校参観、看護実習 規程類集、校内様式・書式 文書、学校要覧、資料記録、校内資料、諸検査 企画運営(年間研修計画) 指導(一般研修、教科研修、授業研究指導、 示範指導、参観指導等) 読書指導、図書購入・登録、図書及び図書室管理
生 徒 指 導 環 境 防 災	生 徒 指 導 安 全 指 導 防 犯 犯 罪 防 災 防 災 環 境 整 備	いじめ及び学校生活相談窓口、生活相談ポストの設置、家庭訪問 生活上の安全指導、長期休業中の生活指導、交通安全指導 通学指導(スクールバス・自主通学)、免許取得、身分証明書 防犯訓練、駐車場割当 消防計画、警備防災計画、緊急連絡網、避難訓練、安全点検、防災指導 環境美化、職員清掃、職員作業、環境教育の推進
進 路 指 導	進 路 指 導 進 路 対 策 委 員 会 同 窓 会	進路指導、進路開拓、現場実習、卒後指導、進路だより、関係者会議の連 絡調整 事務局、PTA総会、保護者進路学習会、福祉事業所見学等 同窓会事務局
情 報	情 報 教 育 視 聴 覚	情報教育推進、ハイユースネット管理、支援技術・ICTの活用推進 視聴覚教育推進、機器整備・管理、ホームページ作成・更新、新校務支援 システムの使い方の支援
渉 外 ・ 交 流 及 び 共 同 学 習	P T A 渉 外 福 祉 村 ま つ り 実 行 委 員 会 交 流	総会、理事会、各種委員会、関節P、高P連等、PTA通信、PTAバザー PTA研修会、保護者環境整備作業、事務局、教育振興会 肢体不自由児協会、文化交流会館管理 福祉村まつりに関わる担当業務の運営 学校間交流、地域交流、居住地校交流、いきいき教育人材活用事業 交流だより
地 域 支 援	教 育 相 談 研 修 支 援 訪 問 支 援 連 携	学習・日常生活等相談、就学・進学相談、学校見学、体験授業 情報提供、研修会開催・協力 合理的配慮の推進、訪問支援、外部専門家を帯同しての訪問支援 行政・医療・福祉・教育等の関係機関との相談・連携、地域支援だより
保 健	保 健 指 導 保 健 管 理	保健指導、健康診断、身体計測、健康観察、保健だより、症例検討会 医療との連携、出欠連絡、安全衛生管理、医療的ケア、感染症予防 日本スポーツ振興センターの手続き、メンタルヘルス、緊急時対応シミュ レーション、保健研修会、緊急時対応検討会 インシデント・アクシデント事例の蓄積と分析、危機管理、環境衛生検査
給 食	給 食 指 導 食 堂 の 衛 生 管 理	給食に関する業務全般、摂食指導体制の整備、摂食研修、食育指導 食育の推進 学校管理の食具・食器の保管、布巾・水回りの衛生管理
児 童 生 徒 会	児 童 生 徒 会 高 体 連 ・ 高 文 連	児童生徒会活動指導、あけぼの祭、児童生徒会総会、あけフェス 児童生徒会役員選挙、部活動(文化部)、委員会
研 究 研 修 自 立 活 動	研 究 研 修 連 携 活 動 自 立 活 動	校内研究の計画、推進、研究のまとめの作成 職員研修の推進、研修会等の紹介、研究書籍・資料等の提供と管理 自立活動の個別の指導計画の活用推進、自立活動研修会、専門家との連 携、あけぼの医療福祉センター療法科との連携(訓練見学等)、校内支援

4 分掌の本年度重点目標

係	目 標
教 務 図 書	○ 知的障害代替の教育課程において、児童生徒の理解状況に合わせた指導の継続性と調和のとれた成長を目指す観点から、教科として指導する内容と自立活動として指導する内容について共通理解を図り、系統的な指導につなげる。 ○ 学習指導要領に沿って児童生徒に適した指導内容と目標を設定し、適切な評価が行えるように、研究・自立係と連携しながら個別の指導計画の活用をすすめていく。 ○ 読書活動をより活発化する。(移動図書・図書だより等による)
生 徒 指 導 環 境 防 災	○ スクールバスの安全運行に関する取り組みについての再確認および連携の促進。 ○ 医療的ケアを利用する児童生徒のスクールバスの利用に対する調査研究の継続。 ○ 児童生徒が安心して安全に学校生活を送れるための、環境整備の充実。 ○ 大規模災害等における学校防災マニュアルについての再検討。
進 路 指 導	○ 保護者のニーズや児童生徒の実態に応じた進路に関わる情報提供について全学部を通して積極的に行う。 ○ キャリア・パスポートの作成及びより良い活用を図りながら、キャリア教育を推進する。
情 報	○ 児童生徒用iPad、BYOD端末及び視線入力機器の活用を推進する。 ○ 通信に係る機器及び手段を整備し、遠隔教育の実践を活かして今後のニーズを深めていく。 ○ ホームページからの情報発信(「あけぼのブログ」への投稿)を円滑に行う。 ○ 新校務支援システムの窓口を担い、使い方や支援を行う。
渉 外 ・ 交 流 及 び 共 同 学 習	○ ウィズコロナにおける渉外・交流活動のあり方を検討する。 ○ 学校と家庭との連携や保護者同士の連携をさらに深められるよう、感染症対策を講じたPTA活動を具体的に計画し実施する。 ○ 交流及び共同学習における児童生徒の目標を意識しながら活動に取り組み、社会参加や自立に向けた活動が積極的に実施できるよう工夫する。 ○ 交流先との密なる連絡調整を通して、交流会の実施方法を工夫し、児童生徒が充実感や達成感が感じられるような交流内容を計画・推進する。
地 域 支 援	○ 小中高等学校に在籍する児童生徒個々の実態やニーズに即した合理的配慮が提供できるよう特別支援学校のセンター的機能を発揮して必要な情報提供や支援をする。 ○ 病弱に係る高等部入学希望者に対する教育相談の充実を図る。 ○ 関係分掌と連携し、外部専門家の活用を通して教員の専門性と指導力の向上を図る。
保 健	○ 医療や保護者、関係者との連携による安心、安全な医療的ケアの実施を進める。 ○ インシデント、アクシデント事例の収集・分析と事故防止のための周知を行い、安全な教育活動が行えるようにする。 ○ 学校の状況に即した研修会を実施する。
給 食	○ 摂食指導の研修を充実させ、安心・安全な給食指導の推進に努める。 ○ 栄養給食科と連携を図り、個々の児童生徒の発達に即した給食を提供する。
児 童 生 徒 会	○ 児童生徒会活動を通じ、考えて実践する態度および、集団の一員として、活動に参加する意欲を育てる。 ○ 部活動については、生活の質の向上を図るものとして、持続的、発展的にあり方を探っていく。 ○ 児童生徒の状況に合わせたあけぼの祭の実施方法について検討し、方向性を示していく。
研 究 研 修 自 立 活 動	○ 肢体不自由特別支援学校における、個に応じた教育課程のあり方と教科指導の内容について検討する。 ○ 教職員の資質向上のための研修会を実施するとともに、本校の課題や教職員のニーズに応じた研修会を紹介する。 ○ 自立活動の個別の指導計画に係る課題と改善に取り組む。 ○ 教員の自立活動に関わる専門性の向上のための指導、支援を行う。

VI 児童生徒の状況

1 児童生徒数

学部	小学部							中学部				高等部				合計
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	
男	0	1	1	3	1	1	7	3	4	1	8	1	6	3	10	25
女	3	2	4	1	1	0	11	1	1	1	3	1	1	4	6	20
計	3	3	5	4	2	1	18	4	5	2	11	2	7	7	16	45

2 身辺自立の状況

項目	学部	小学部	中学部	高等部	合計	%
対人関係	反応がはっきりしていない	4	1	3	8	17.8%
	人に注意を向ける	7	1	6	14	31.1%
	人に向かって働きかける	2	2	2	6	13.3%
	人からの働きかけに対応した反応をすることがある	1	1	3	5	11.1%
	人からの働きかけに対応する	4	6	2	12	26.7%
言語（受容）	言語を理解しているかわかりにくい	11	3	9	23	51.1%
	特定の単語を理解している	3	0	4	7	15.6%
	簡単な指示がわかる	0	0	1	1	2.2%
	身近な会話がわかる	3	4	1	8	17.8%
	日常会話が理解できる	1	4	1	6	13.3%
言語（表出）	発声がない、または発声が意図的かわからない	11	2	7	20	44.4%
	意図的な発声がある	5	2	8	15	33.3%
	簡単な単語が言える	1	2	1	4	8.9%
	簡単な文が言える	0	2	0	2	4.4%
	日常会話ができる	1	3	0	4	8.9%
排泄	一人でできない(サインで知らせることが難しい)	16	5	13	34	75.6%
	サインによって知らせることができる	0	2	1	3	6.7%
	大部分において介助が必要だが排尿排便ができる	1	1	1	3	6.7%
	一部分介助が必要だが排尿排便ができる	1	3	1	5	11.1%
	一人でできる	0	0	0	0	0.0%
運動	寝返りをうつことが難しい	7	2	8	17	37.8%
	介助すれば寝返りがうてる	3	2	2	7	15.6%
	一人で寝返りがうてる	3	0	0	3	6.7%
	腹ばいで移動ができる	1	0	0	1	2.2%
	四つばい、いざり、またはひざ立ちで移動ができる	1	1	2	4	8.9%
	つかまり歩き、支え歩きができる	2	4	1	7	15.6%
	独歩ができる	1	2	3	6	13.3%
移動方法	介助を受けての車椅子移動	16	5	12	33	73.3%
	一部介助を受けての車椅子移動	0	3	1	4	8.9%
	自力での車椅子移動	0	2	0	2	4.4%
	電動車椅子での移動	0	0	0	0	0.0%
	補助具・介助での移動	1	0	0	1	2.2%
	一部介助を受けての独歩	0	1	2	3	6.7%
	独歩	1	0	1	2	4.4%

3 学級数

学部	小学部								中学部					高等部					合計				
	学級数	人数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	小計	学級数	人数	1年	2年	3年	小計	学級数	人数	1年	2年	3年	小計	学級数	人数
単一	1		1	0	0	0	0	0	1	1		1	0	0	1	0		0	0	0	2	2	
重複	5		2	3	3	4	2	1	15	3		3	4	2	9	6		2	7	7	16	14	40
訪問	1		0	0	2	0	0	0	2	1		0	1	0	1	0		0	0	0	2	3	
計	7		3	3	5	4	2	1	18	5		4	5	2	11	6		2	7	7	16	18	45

4 入所・通学別児童生徒数

	小学部				中学部				高等部				合計			
	入所	通学	訪問	計	入所	通学	訪問	計	入所	通学	訪問	計	入所	通学	訪問	計
男	1	10	1	12	1	6	1	8	4	6	0	10	6	22	2	30
女	0	5	1	6	0	3	0	3	3	3	0	6	3	11	1	15
計	1	15	2	18	1	9	1	11	7	9	0	16	9	33	3	45

5 居住地別児童生徒数

	北杜市	韮崎市	南アルプス市	甲斐市	甲府市	昭和町	中巨摩郡	南巨摩郡	西八代郡	富士吉田市	南都留郡	上野原市	県外	合計
小学部	3	4	6	1	3	1	0	0	0	0	0	0	0	18
中学部	3	2	4	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	11
高等部	2	3	3	0	0	0	0	0	1	1	2	3	1	16
計	8	9	13	2	3	1	0	0	2	1	2	3	1	45

6 病類別児童生徒数

		脳性疾患					筋原性疾患	脊椎脊髄疾患	骨系統疾患	神経疾患	染色体・遺伝子疾患	代謝性疾患	その他	小計	合計
		脳性まひ	脳室周囲白質軟化症	低酸素性脳症後遺症	てんかん	その他									
小学部	男	0	0	2	1	1	1	0	0	0	2	0	0	7	18
	女	0	0	5	0	1	0	0	0	0	4	1	0	11	
中学部	男	4	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	8	11
	女	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	3	
高等部	男	0	1	4	2	1	1	0	0	0	0	0	1	10	16
	女	2	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	6	
合計		6	2	14	5	5	3	0	0	0	8	1	1	45	

7 高等部卒業生の進路状況(H27～R6年度)

■ 進学状況

卒業年度(平成)	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
日本福祉大学通信教育部										1

■ 企業就職の状況

卒業年度(平成)	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
(株)メディアブレイン										1
南アルプス市役所										
韮崎市立病院	1									
韮崎市役所			1							
市川三郷町役場								1		
国立病院機構甲府病院						1				
韮崎市立大村記念図書館							1			

■ 施設利用等の状況

卒業年度(平成)		27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
生活介護	なのはな										
	コスモス通所			1	[1]	[1]	1	[2]			
	みらいコンパニー	1									
	ともろうらんど				[2]						
	ワークハウスみどりの家	[1]	[1]	[1]	[3]					[3]	[1]

* []内の数字は、週、又は月の内何日間かを利用している卒業生の数

VI 児童生徒の状況

The School Profile of Akebono Special Needs Education School

19

7 高等部卒業生の進路状況

卒業年度(平成)		27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
生活介護	おひさま	[1]		[1]	1	[1]		[2]		[2]	
	みだい寮										
	のはら楽団		1	1							
	国立病院機構甲府病院 「ひだまり」	[1]						[1]		[2]	
	あけぼの医療福祉センター 「チェンパロ」	[1]	[1]				[1]			[1]	
	きぼうの家							[1]			[1]
	WaiWai									1	[3]
	甲斐かおりの家									[1]	
	ひびき								[2]	[2]	[1]
	あおば白根										[2]
	介護のぞうさん										[1]
就労移行支援	あさひワークホーム										
	ジットたいよう		1	1	1	1	1			1	
就労継続支援B型	ジットたいよう									[1]	[1]
	スマイルファクトリー										[1]
	どんぐりの家										[1]
	フレンズ										
	パル実郷				1						
	あさひワークホーム							1			
施設入所支援	コスモス						1				
療養介護	あけぼの医療福祉センター	1	1	2	3	3	2	4	2	3	
	国立病院機構甲府病院		2					1			
在 宅		1					1	1			
卒業生合計		6	6	7	9	5	8	11	5	10	8

*[]内の数字は、週、又は月の内何日間かを利用している卒業生の数

Ⅶ 校地及び施設

1 校地

(1) 野外運動場	4,300㎡(1,303坪)
(2) 校舎用敷地	12,125㎡(3,674坪)
合 計	16,425㎡(4,977坪)

2 施設

名 称	項 目	構 造		延面積 (㎡)	建築年月
		造	建		
本 館		鉄 筋 コ ン ク リ ー ト	平 屋	604	昭和50. 1
1 号 館		〃	〃	484	昭和50. 1
2 号 館		〃	〃	569	昭和50. 1
3 号 館		〃	〃	417	昭和50. 1
5 号 館		〃	〃	531	昭和55. 3
6 号 館		〃	〃	932	昭和60. 3
渡 り 廊 下		鉄 骨 造	〃	902	昭和50. 1 昭和60. 11 平成18. 8
体 育 館		〃	〃	802	昭和52. 3
プ ー ル 棟		一部鉄筋コンクリート 一部鉄筋鉄骨材	〃	367	平成18. 3
食 堂 棟		鉄 骨 造	〃	287	平成18. 3
文 化 交 流 館		鉄 筋 コ ン ク リ ー ト	〃	552	平成 4. 7
重度心身障害児教室		〃	〃	256	昭和63. 3
体 育 器 具 庫		鉄 骨 造	〃	30	平成 4. 12
車 庫		鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 鉄 骨 材	〃	131	昭和50. 9 平成19. 3
倉 庫		鉄 筋 コ ン ク リ ー ト	〃	50	昭和50. 9
消 火 栓 ポ ン プ 室		〃	〃	10	平成18. 7
管 理 棟 昇 降 口		鉄 骨 造	〃	63	平成18. 7
合 計				6,987	

X 年間行事予定

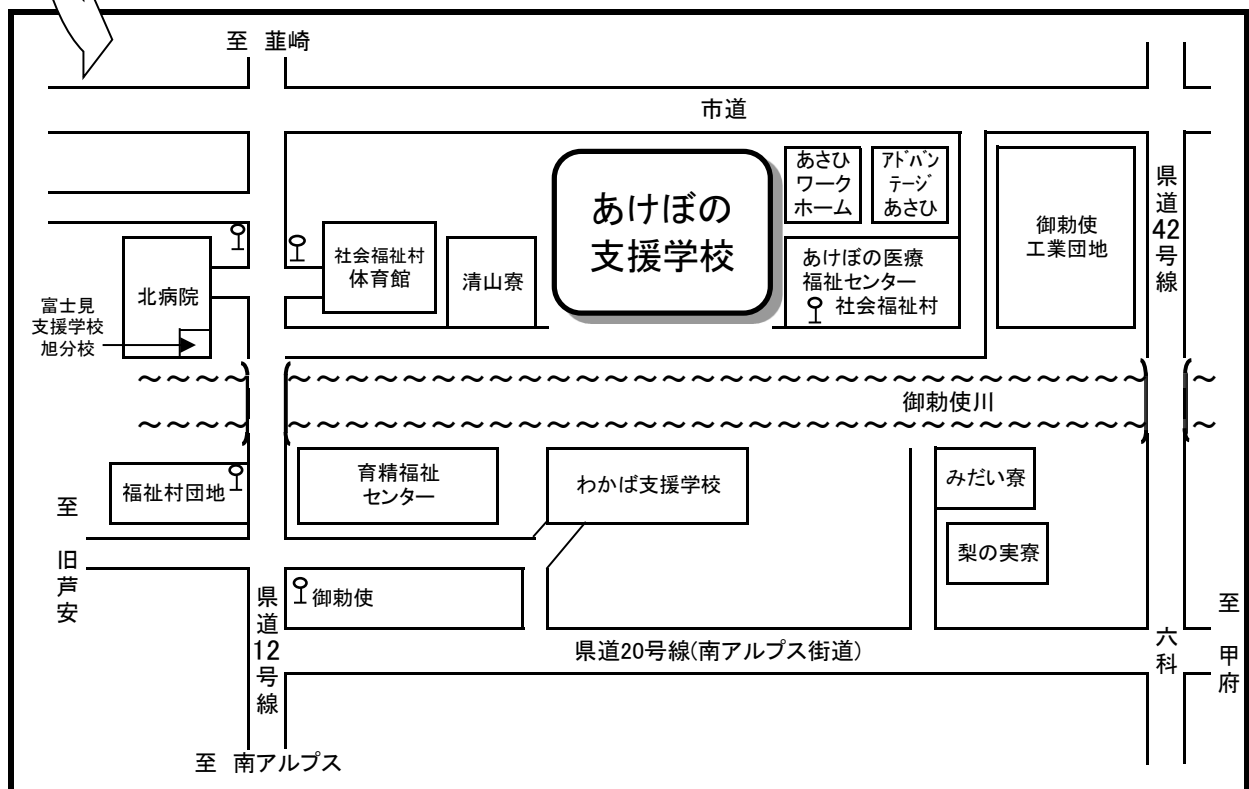
日	4月	5月	6月
1 火	学年始休業	木 体重測定(1号館) 内科検診(小) 耳鼻科検診	日
2 水		金 学部PTA・PTA総会・進路対策委員会総会・教育振興会総会	月
3 木		土 憲法記念日	火
4 金		日 みどりの日	水
5 土		月 こどもの日	木 体重測定(6号館)
6 日		火 振替休日	金 体重測定(5号館) 第1期現場実習 最終日
7 月		水 体重測定(6号館) 整形外科検診(中)	土
8 火	始業式 入学式	木 高等部集会 体重測定(5号館) ALT来校 内科検診(予備) 尿検査二次	日
9 水	学年始準備のための日課11:30下校 学部学級扱い 身体測定(小)	金 体重測定(3号館) 眼科検診	月 体重測定(1号館) 修学旅行事前検診(小)
10 木	給食・通常下校開始 小1下校 11:30 身体測定(中) ALT来校	土	火 医学部実習 体重測定(3号館) 役
11 金	身体測定(高) 黄色い帽子贈呈式	日	水 医学部実習
12 土		月 整形外科検診(高)	木 小学部修学旅行 ALT来校
13 日		火 介護等体験 役	金 小学部修学旅行
14 月	小1給食開始・下校13:30 身体測定(センター生) 結核検診	水 歯科検診 介護等体験	土
15 火	尿検査一次 役	木 聴力検査	日
16 水	PTA新旧理事会・進路対策委員会 新旧理事会 尿検査一次	金	月 第1回三校間交流
17 木	小1通常下校開始 ALT来校 内科検診(中)	土	火 学校創立記念日
18 金		日	水 第1回あけフェス 韮崎工業高校との交流
19 土		月	木 ALT来校 PTA専門委員会・理事会
20 日		火 整形外科検診(予備) 役	金 いきいき教育地域人材活用(ピッピの会)
21 月		水 第1回児童生徒総会	土
22 火	内科検診(高) 修学旅行事前検診(高) 高等部修学旅行結団式	木 ALT来校	日
23 水	心電図検査	金	月 引き渡し訓練 いきいき教育地域人材活用(ピッピの会) 予備日
24 木	高等部修学旅行 小学部集会	土	火 学校運営協議会 役
25 金	高等部修学旅行	日	水 オープンスクール
26 土		月 第1期現場実習(-6/6まで)	木 増穂南小との交流 文
27 日		火	金 韮崎西中学校との交流
28 月	視力検査	水 介護等体験	土
29 火	昭和の日	木 介護等体験	日
30 水	中学部集会 授業参観・学級個別懇談(～14日まで) 整形外科検診(小)	金 保護者環境整備作業	月 人権の花運動
31		土	
備考	訪問学級始業式		あけぼの医療福祉センター療法見学
授業日	16	20	20

日	7月	8月	9月
1	火 体重測定(3号館)	金 夏季休業	月 交通安全指導週間(-9/5まで) 身体測定(5号館)
2	水 体重測定(1号館) 韮崎工業高校との交流予備日	土	火 身体測定(6号館)
3	木 体重測定(5号館) ALT来校	日	水 PTA専門委員会・理事会
4	金 保護者環境整備作業 体重測定(6号館)	月	木 ALT来校 文
5	土	火	金
6	日	水	土
7	月	木	日
8	火 第1回定期試験及び成績会議のための半日課13:30下校	金	月
9	水 第1回定期試験	土	火 実
10	木 第1回定期試験 増穂南小との交流予備日 文	日	水 福祉事業所見学
11	金 福祉事業所見学	月 山の日	木
12	土	火	金
13	日	水	土
14	月	木	日
15	火	金	月 敬老の日
16	水	土	火 第Ⅱ期現場実習(-9/26まで) 遠足 事前健康診断(小)
17	木 ALT来校	日	水
18	金 食育指導	月	木
19	土	火	金 小学部遠足
20	日	水	土
21	月 海の日	木	日
22	火	金	月
23	水 全校集会11:30下校 学部学級扱い	土	火 秋分の日
24	木 夏季休業	日	水
25	金	月	木
26	土	火	金 食育指導 第Ⅱ期現場実習最終日 遠足事前健康診断(中)
27	日	水 8月全校集会 学部学級扱い 授業開始 11:30下校	土
28	月	木 通常下校・給食開始 身体測定(1号館)	日
29	火	金 身体測定(3号館)	月
30	水	土	火 学習修め式 学級・個別懇談 11:30下校 前期終了 実
31	木	日	
備考	あけぼの医療福祉センター療法見学		訪問学級学習修め式 韮崎西中学校西鐘祭
授業日	16	3	20

日	10月		11月		12月	
1	水	後期開始 体重測定(1号館)	土		月	体重測定(3号館)
2	木	体重測定(3号館) ALT来校	日		火	体重測定(1号館) 選
3	金	中学部遠足 体重測定(5号館)	月	文化の日	水	体重測定(5号館)
4	土		火	体重測定(3号館) 実	木	中学部集会 体重測定(6号館) 文
5	日		水	体重測定(1号館) 甘利小との交流	金	第2回定期試験
6	月	体重測定(6号館)	木	体重測定(5号館) ALT来校	土	
7	火	現場実習報告会 実	金	体重測定(6号館)	日	
8	水		土		月	第2回定期試験
9	木	文	日		火	第2回定期試験 選
10	金		月		水	
11	土		火		木	ALT来校
12	日		水		金	第2回三校間交流
13	月	スポーツの日	木	第51回あけぼの祭1日目 実	土	
14	火	実	金	第51回あけぼの祭2日目	日	
15	水	いきいき教育地域人材活用(オカリナ)	土		月	
16	木		日		火	選
17	金		月	PTA専門委員会・理事会・減免審査会	水	小学部集会
18	土		火	甘利小との交流予備日	木	
19	日		水	実	金	保護者環境整備作業 食育指導
20	月		木	県民の日	土	選
21	火	実	金	授業参観(学校公開)・学級個別懇談 入学者選抜説明会	日	
22	水		土		月	
23	木	いきいき教育地域人材活用(オカリナ)予備日 学校運営協議会	日	勤労感謝の日	火	高等部球技大会
24	金	ALT来校 保護者環境整備作業	月	振替休日	水	12月全校集会 授業終了(11:30下校) 学部学級扱い
25	土		火		木	冬季休業
26	日		水		金	
27	月	あけぼの祭特別日課開始	木		土	
28	火	実	金		日	
29	水	福祉事業所見学	土		月	
30	木		日		火	
31	金	ALT来校	日		水	
備考	センター療法科見学		緊急地震速報 高等学校芸術文化祭パレード・グランドステージ参加(高) ゆずっこ祭文化祭(増穂南小) センター療法科見学		センター療法科見学 避難訓練	
授業日	22		17		18	

日	1月	2月	3月
1	木 元日 冬季休業	日	日
2	金	月 体重測定(1号館)	月 体重測定(5号館)
3	土	火 体重測定(3号館) 役	火 体重測定(6号館) 役
4	日	水 入学オリエンテーション(小・中学部) 体重測定(5号館)	水 入試前日準備のための13:30下校
5	月	木 第3回定期試験 体重測定(6号館) ALT来校	木 高等部入学者選抜検査(仮) 全校休業
6	火	金 第3回定期試験	金 卒業式予行
7	水	土	土
8	木	日	日
9	金 1月全校集会 授業開始 11:30下校	月 第3回定期試験 定期試験及び成績会議のための半日休 13:30下校	月
10	土	火 小学部集会 役	火 卒業証書授与式(仮) 同窓会入会式11:30下校
11	日	水 建国記念の日	水
12	月 成人の日	木	木 高等部入学許可予定者発表(仮) 高等部オリエンテーション ALT来校
13	火 通常下校・給食開始 身体測定(5号館) 選	金	金 食育指導
14	水 荏崎工業高校教材受け入れ式 身体測定(6号館)	土	土
15	木 児童生徒会役員選挙立会演説会・投開票 身体測定(3号館) ALT来校	日	日
16	金 身体測定(1号館)	月 授業参観・学級個別懇談week(～27日) PTA専門委員会・理事会	月
17	土	火 役	火
18	日	水 第2回児童生徒総会・あけフェス	水
19	月	木 中学部集会	木
20	火 役	金 学部PTA・PTA研修会・進路対策委員会学習会 SB利用者連絡会 SB新規利用者説明会	金 春分の日
21	水	土	土
22	木 ALT来校	日	日
23	金	月 天皇誕生日	月
24	土	火 役	火 学部学級扱い
25	日	水	水 修了式・離任式 11:30下校
26	月	木 高等部集会 体重測定(1号館) ALT来校	木 学年末休業
27	火 役	金 体重測定(3号館)	金
28	水	土	土
29	木 文	日	日
30	金 給食感謝の会	月	月
31	土	火	火
備考		高等部入学者選抜検査出願受付	高等部入学者選抜検査(再募集)出願受付
授業日	15	18	16

IX 学校案内図

交通機関 山梨交通バス

甲府駅バスターミナル 御勅使行（御勅使下車）

韭崎市民バス

韭崎駅

社会福祉村行（社会福祉村下車）

